

2022年7月

海外留学・語学研修等に伴う危機管理について
(海外旅行保険及び海外危機管理サポートの加入)

神奈川大学

神奈川大学では、緊急時に、より迅速な支援活動を行えるようにする為、該当プログラム参加者の皆さんには、大学指定の海外旅行保険の加入及び海外危機管理サポートの加入を参加条件とさせて頂いています。海外での危機管理体制強化の一環として、ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

海外旅行保険の加入

本学では、東京海上日動火災保険と海外旅行保険包括契約を結んでおり、各プログラムを対象とした保険プランを設定しています。参加するプログラムの保険プラン詳細、加入方法を国際センターの各担当者に確認後、下記代理店にて加入手続きを行って下さい。

【代理店】

東京海上日動火災保険株式会社代理店 石間企画事務所
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-16-10 コスモス御苑ビル 501C
TEL : 03-5362-2631 FAX : 03-5362-2632

- *尚、この保険は包括契約である為、一般に加入する場合の保険料と比較すると、割安な保険料で加入することができます。
- *上記海外旅行保険に加え、派遣先大学が指定する保険への加入が求められた場合は、双方の保険に加入する必要があります。

危機管理（トータルアシスタントサービス＝J-TAS）の加入

本学では、JCSOS（NPO 海外留学生安全対策協議会）と危機管理契約を行い、事故等の発生に備えています。該当プログラムに参加する皆さんには、国際センターを通して危機管理（トータルアシスタントサービス＝J-TAS）に加入して頂きます。J-TASの海外危機管理サポートデスク、海外健康電話相談サービスでは、病気、ケガ、盗難等のトラブルについて24時間365日体制で、専任スタッフが日本語で各種相談に応じることが出来、学生本人だけでなく、ご家族からの相談にも対応します。尚、J-TAS海外危機管理サポートデスク加入費用は、「1日72円×日数」です。

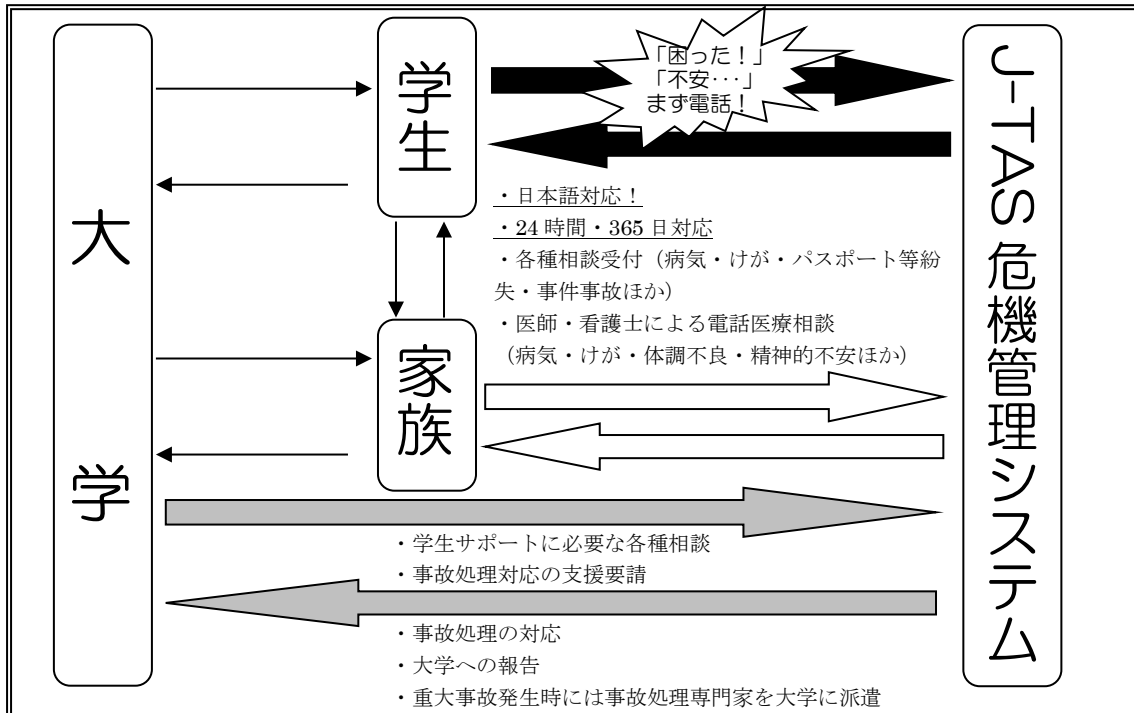
海外旅行保険料と J-TAS 海外危機管理サポートデスク加入費については、上記代理店発行の払込取扱票にてお振込み下さい。

海外旅行保険・危機管理 Q&A

Q1 危機管理ってなに？

危機管理契約は保険ではありません。学生と大学に対し、以下のようなサポートをします。

※有事の際、それぞれのケースにおいて保険金を支払うもととなるのは、個々の任意契約です。危機管理は保険ではありませんので、混同しないようにご注意ください。



Q2 保険には必ず入らなくては行けないの？

海外の医療事情は日本と異なることも多く、思いがけない高額な料金を請求されるケースもあるので注意が必要です。救急車が有料の地域も多くあります。

◆支払能力を確認される！

海外では病気やケガで病院に行くと、まず患者がきちんと医療費を支払うことができるかどうかをチェックします。入院するには最初にデポジット（保証金）を払わなければならないところもあり、クレジットカードや保険の加入証などを出さないと治療を受けられないケースが実際にあります。

Q3 大学はなぜ東京海上日動火災保険株式会社を指定しているの？

JCSOS が提供し、大学の採用する危機管理システムは東京海上日動火災保険のサポートシステムの一部を利用して、有事の際、治療や移送が必要な場合には予め東京海上日動社の海外旅行保険に加入することで、支払能力の確認をすぐに行うことができます。ですから、有事の際には JCSOS のカード記載の連絡先に電話をするだけで、治療や移送等の手続きがスムーズに行われるよう、サポートを受けることが可能になるほか、神奈川大学も現地の状況を把握し、みなさんをサポートしやすくなります。

一方、みなさんが他の保険会社と契約した場合、個人情報保護法により、JCSOS はみなさんの保険内容（補償限度金額等）を調べることができませんので、サポートが受けられない場合があります。

Q4 期間・地域によって保険プランが違うのはなぜ？

有事の際、最も重要になってくるのが「治療救済費用」の補償金額です。医療費は国や地域によってかなり差がありますが、JCSOS で把握している過去のケースでかかった費用を参考に、神奈川大学では長期留学の場合は欧米圏その他で無制限、アジア圏では 3000 万円以上、短期プログラムの場合は地域に関わらず無制限の治療救済費用補償を有する必要があると考えます。